

平成14年度上期決算について

北海道国際航空株式会社(代表取締役社長 石子彭培 以下ADO)は、平成14年12月25日開催の取締役会において、平成14年度上期半期決算を承認いたしました。詳細は下記のとおりです。

記

1. 営業実績

(単位:百万円)

	事業収益	営業総利益	営業利益	経常利益	中間純利益
平成14年度 上期	6,048	540	484	824	1,478
平成13年度 上期	6,245	368	889	1,198	155
差 額	197減	172増	405減	374増	1,323減

2. 業績等の概要

当中間会計期間における我が国経済は、アメリカ経済の先行き懸念と株価の下落により、企業収益も横ばいを続け、個人消費、設備投資とも、上向きの兆しの見えない状況で推移いたしました。

当社は、前期末(第6期)の時点で累積損失7,503百万円を抱え、303百万円の債務超過に陥りました。

かかる状況を打開すべく、北海道庁等への支援要請を行う一方、航空機材賃借料の引下げ等コスト削減に全力を挙げましたが、抜本的改善策には至らず、このままの収支構造では事業の継続に支障を来す恐れがあると判断し、平成14年6月25日に東京地方裁判所に民事再生手続開始の申立てを行いました。併せて同日、当社の事業再建を確実なものとするため、全日本空輸株式会社と全面的な業務提携をする旨の基本合意を締結いたしました。

その後、平成14年7月4日には東京地方裁判所から再生手続開始の決定を受け、8月2日には全日本空輸株式会社と「業務提携に係わる確認書」を取り交わし、具体的な提携内容について協議をすすめました。

そして、9月17日には再生債権の90%カット、発行済株式の100%無償消却及び増資並びに全日本空輸株式会社との共同運航を柱とした単年度黒字化を目指す「再生計画案」を東京地方裁判所に提出いたしました。

当中間会計期間における当社の運航実績は旅客数416千人(前年同期428千人)、利用率67.3%(前年同期74.8%)、就航率99.1%(前年同期99.4%)となりました。

事業収益は、増収に向けて運賃改定及び新規旅行代理店の開発等で販路拡大にも取り組みましたが、他社の運賃攻勢の激化と7、8月の搭乗率未達等により計画を下回り、6,048百万円(前年同期比96.8%)の計上となりました。

一方費用面では、航空機材賃借料、航空機整備費用の値下等費用削減に努めた結果、事業費は5,507百万円(前年同期比93.7%)、販売費及び一般管理費は1,025百万円(前年同期比81.5%)となりました。

この結果、営業損失は484百万円(前年同期比54.5%)、開業費償却の負担等により経常損失は、824百万円(前年同期比68.8%)となりました。また、当中間期より、航空機材の定期整備に要する整備費のうち、整備サイクルが1年を超えるものについて航空機材整備引当金を計上することとし、過年度分404百万円を特別損失に計上したこと等から、最終の中間純損失は1,478百万円(前年同期比948.2%)となりました。

3. 添付資料

中間貸借対照表(平成14年9月30日 現在)

中間損益計算書(自 平成14年4月1日 至 平成14年9月30日)

以上

北海道国際航空株式会社 第7期中間

貸借対照表

(平成14年9月30日現在)

(単位:百万円)

【流動資産】		【流動負債】	
現金及び預金	827	営業未払金	2,234
営業未収入金	683	短期借入金	2,283
棚卸資産	35	未払金	210
前払費用	370	未払法人税等	5
その他	217	前受金	492
		その他	195
流動資産計	2,133	流動負債計	5,421
【固定資産】		【固定負債】	
有形固定資産	437	航空機材整備引当金	452
無形固定資産	153	退職給与引当金	29
投資その他の資産		長期未払金	80
(1) 敷金保証金	1,181		
(2) その他	73		
計	1,254		
固定資産合計	1,845	固定負債計	561
		負債計	5,983
【繰延資産】		【資本金】	
開業費	221		7,199
繰延資産合計	221		
		【欠損金】	
		前期繰越損失	7,503
		中間純損失	1,478
		欠損金計	8,982
		資本合計	1,782
資産計	4,200	負債及び資本合計	4,200

北海道国際航空株式会社 第7期中間

損益計算書

自 平成14年4月1日
至 平成14年9月30日

(単位：百万円)

【事業収益】		6,048
【事業費】		5,507
	営業総利益	540
【販売費及び一般管理費】		1,025
	営業損失	484
【営業外収益】		
受取利息	3	
その他	131	
	合計	134
【営業外費用】		
支払利息	15	
開業費償却	221	
その他	237	
	合計	474
	経常損失	824
【特別利益】		
臨時利益	54	
前期損益修正益	49	
	合計	104
【特別損失】		
前期損益修正損	542	
固定資産除却損	25	
固定資産売却損	4	
その他	179	
	合計	752
	税引前中間純損失	1,473
法人税、住民税及び事業税		5
	中間純損失	1,478

【広報資料】

【参考資料】

	平成14年度上期	平成13年度上期	対前年度比
提供座席数	618,414席	572,633席	108.0%
搭乗旅客数	416,121人	428,285人	97.2%
平均搭乗率	67.3%	74.8%	
運航便数	2,151便	2,102便	102.3%
運航率	99.1%	99.4%	
定時出発率	96.3%	94.6%	